

情熱をもって、覚醒の年に

― 年頭ご挨拶 ―



株式会社インテック
代表取締役社長
金岡 克己

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、東日本大震災、福島第二原子力発電所事故など、社会を震撼させる災害に見舞われた年でした。一日も早い復旧・復興が行われることを心からお祈り申し上げます。

IT業界にも出来事がありました。世界を変えた男、スティーブ・ジョブズの死去です。ジョブズは、アップルを共同創業し成功に導くものの、その苛烈な性格が人を遠ざけ、30歳にして追放されます。その後、出資したCG映画会社Pixarで、「TOY STORY」が大ヒット。この手腕を買われ、再びアップルに返り咲きます。復帰後は、iMac、iPod、iPhone、iPadと次々に新製品を発表。ついには、2010年、株式時価総額でMicrosoftを抜き、世界最大のIT企業を実現しました。

栄光、挫折、そして奇跡の復活、カリスマと呼ぶに相応しい経歴でしょう。ジョブズは純粹な技術者ではありません。いわゆる経営者でもありません。高い理想を掲げ、Art & Technology を融合させた稀有な存在とい

われています。

そのジョブズが最も強調していた言葉、それがPassion(情熱)です。「情熱がたっぷりなければ生き残ることはできない。それがないと人はあきらめてしまう。(中略)我慢さえできれば、うまくいったも同然なのだ」ジョブズはこう話していたそうです。

今の日本に不足しているもの、それが情熱かも知れません。未来を見据え、夢の実現に情熱を傾ける。日本全体が覚醒することを大いに期待したいと思います。

インテックは、ITの活用により、社会の発展に尽くすことを社是としています。昨年、北陸電力と共同設立の株式会社パワー・アンド・ITが最新のデータセンターを富山県にオープンしました。インテックグループは、クラウド時代への対応を着実に進めています。

情報サービスは、重要な社会インフラとなりました。これまでどおり、安全、安心に真正面から向き合う所存です。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を願ひ申し上げます。